

## サーチライト With Pastor Jon 黙示録16章 パート3

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳してYOUTUBEやブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。  
\*インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」  
ヘブル4：7

メッセージby ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ  
<http://joncourson.com/>  
7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530  
訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>  
筆記 by Rin

第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。  
すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。  
(黙示録16:12)

ユーフラテス川は、聖書の中で25回登場します。これはヨルダン川と相反するもの、真逆、正反対で、ヨルダン川が約束の地に導くのに対し、ユーフラテス川はバビロンへと導きます。全長2900km、川幅は平均275m、ものすごい水量のこの川が、干上がってしまうのです。人々は「それは不可能だ!!!」と言っていました。  
1994年、アタチュルクダムが完成するまでは。

アタチュルクダムはトルコ内に建設されましたが、現在トルコは、このダムを丸1年間閉鎖することが可能です。そうすればある日突然、イラクでユーフラテス川の流れが滞り、もはやシリアにも水が流れません。  
ともかく、超自然的に干上がるにしろ、既存のダムの操作にしろ、どちらにしても川は東の王たちのために干上がります。

以前学んだ通り、東の王たちとは、間違いなく中国、インド、日本の2億人の大軍勢で、共にイスラエルに攻め込んで来ます。彼らは既に向かっている、東から南アジアを横切り、最後の戦いのために中東を目指しています。

世界中の軍隊が集まるというハルマゲドンの様子については14章で既に見ました。  
軍隊はもう一丸となって向かっており、今回は東の王たちが来ているのです。  
ご存知の通り、戦争は一夜にして起こりません。

“砂漠の嵐作戦”を覚えていますか？何か月も何か月もかかってそれぞれが位置につき、全てが整ったところで戦争が始まりました。

あのような大きな戦争は、こうして起こるものです。

それで、14章でハルマゲドンの戦いは、既に確実に始まっていますが、まだ準備が整っておら

ず、他の軍隊が現地へと向かっていて、ここでは東からの軍勢が進軍しています。ユーフラテス川が干上がり、そこを渡るのでしょう。

このことについて書かれている13節から16節までを見ます。

また、私は竜（サタン）の口と、獣（反キリスト）の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。（黙示録16:13）

彼らはしるしを行う悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。

（黙示録16:14）

全世界がハルマゲドンに向かうよう、皆がその戦いに参戦するよう誘い出すために、霊的な軍隊がサタン、反キリスト、偽預言者から放たれました。

悪魔、悪霊のカエルたちがゲロゲロと語りかけます。

《メギドに行け。メギドに行け。メギドに行け。メギドに行け。》

すると、みんなが言い出します。「俺たちもメギドに行かないと！」

《メギドに行け。》

そして、みんなピョンピョン飛び跳ね始め、そこに向かってワケも分からず動き出していきます。

理解しておいて下さい。皆さんも恐らく私と同じように思うでしょう？

「どうして我々は、今リビアにいるんだ？」（2011年当時）「これは一体...？」

多くの人が、全員ではなくても多くの人が、今この時点で混乱しています。

「俺たちは一体ナニをしているんだ？」「えっ？どうなって...？」

《メギドに行け。メギドに行け。》

政治家や指導者たちの意思をはるかに超えたところで、何かの力が働いているのです。

アフガニスタンから撤退し、イラクから退去するという公約で、今の大統領が選ばれました。それなのに、未だにアフガニスタンにもイラクにも駐留していて、更にリビアにまで行っており、その上今度はシリアに派遣しようとしています。（2011年当時）

政治的立場に関係なく、まるで人々が一定の位置に吸い込まれて行くようで、説明がつきません。めちゃくちゃで、みんなが当惑しています。

それは、霊的な軍勢が登場し、働いているからです。

その結果最終的には、全員が中東に引き込まれることになり、全世界が万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、メギドに集まって来ます。（14節）

神の約束の成就を阻止しようとして、イスラエルが反キリストによって破滅させられるかと思われた時に、反キリストと竜が遂に世界を支配しようとした時に、ユダヤ人を根絶し、イスラエルを全滅させようとした時に、主はハルマゲドンの戦いの最中に、肉体を持って、目に見える形でメギドの谷に現れます。

この、イスラエルにとって大変悲惨な状況に思えるその時に、彼らは天を仰ぎ見、来られるその方を見て言うのです。「ヤハウエの御名によって来られる方をほめたたえよ!!!」「主の御名によって来られる方をほめたたえよ!!!」

彼らはその場でイエス・キリストを認識し、主の突き刺された傷を見て、

「あなたの胸にあるこの傷はどうしたのか」と問われると、「それは友人の家で受けたものだ」と答えるであろう。（ゼカリヤ書13:6 新共同訳）

素晴らしい!!! 主の大いなる日。彼らは主を受け入れ、主は彼らを救い出されます。

それが実際に起こります。思いがけなく驚く形で。

一見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである— (黙示録16:15)

繰り返しますが、1テサロニケ5:4でパウロは「我々は気を抜いたりしない。我々に突然襲いかかることはない。」と言いました。

その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。(1テサロニケ5:4)

誰をっ!?

あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもだからです。(1テサロニケ5:5)

これは、あなたや私のことです。私たちは突然襲われたりしません。

しかし地上の大半の人たちが、この時点では信じておらず、悔い改めず、受け入れもせず、御名を汚すことを言い、呪っているのです。

わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである (黙示録16:15)

その時でも地上にはまだ、その後信じる人たち「レムナント」が残っているのです。殆どの人々が殺されて死にますが、生き残る人もいて見えています。

目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである (黙示録16:15)

主は言います。「罪の束縛に呑み込まれない様に！」これは、現在の私たちにも当てはまることです。

黙示録の著者ヨハネは言いました。

キリストに対するこの望みをいだく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。(1ヨハネ3:3)

キリストが来られるのを待つことは、清める力となるのです。

もし私が主の来臨を考えずにいたり、考慮せずに生きているなら、簡単に罪を犯してしまうでしょう。でも主の来臨を待ち望み、語り、よく知っているなら、清さを醸し出すのです。誰でもみんなそうです。生き方が変わるのです。

キリストに対するこの望みをいだく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。(1ヨハネ3:3)

こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。

(黙示録16:16)

エルサレムの北約95kmにあり、長さ約32km、幅約24kmのメギドの谷。

過去にもここで戦争がありました。ギデオン人はミデヤン人と、バラクとデボラはカナン人と、ヨシヤはネコ王と戦い、実に多くの魂が、このメギドで命を落としました。

歴史の中で多くの戦いがありましたが、ここが最後の戦闘の地、震源地となります。

と言っても、この場所限定ではなく、イスラエルを滅ぼし、神の約束を取り消そうとするための、最後の世界大戦の中心地となるのです。

サタンは、主がエルサレムに戻り、そこに王国を築くという主の約束を取り消したいのです。

馬のくつわに届くほどの大量の血が流されると以前学びましたね。

長さ約320kmの、戦争の震源地であるメギドの谷からずっと南にあるのがボズラで、現在のヨルダンです。主が彼らを集め、そこは信じ難いほどの血の海となり、全ての人間が、血に覆われるか、血の海に浸るかのどちらかになります。イエス・キリストの血で覆われるか、それとも主を拒絶し、関係を持つとせずに血の海に浸るか。

救いを拒絶するという、自ら犯した恐ろしい罪の結果は、

罪から来る報酬は死です。(ローマ6:23)

罪は死を呼ぶ。ハルマゲドンはその典型ですよ。流血、殺し合い、想像を絶する破滅。しかし、絶望的になったところで主が来られ、主権を握られます。ハルマゲドンの戦い。

第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。

すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した」と言った。

(黙示録16:17)

信じて受け取る人のために、戦いに勝利して戦争は終わりました。

そして、イエス・キリストは十字架の上で叫びました。「完了した」(ヨハネ19:30)

私たちは救われています。

あなたはカルバリーの丘の血で覆われることもできます。

もしくはメギドの谷で血の海に浸るか。カルバリーの丘か、メギドの谷か。

血に覆われるか、血の海か。「選ぶ」のです。

いずれにしても、罪を犯す魂は、必ず死ななければなりません。

血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。(ヘブル9:22)

それでレビ記16章は、何らかの方法で血が流されると示しています。

すると、いなずまと声と雷鳴があり、大きな地震があった。

この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほどに大きな、強い地震であった。(黙示録16:18)

事は成就しました。

地震、それから雷、暗闇、その他全てがカルバリーの記憶を呼び起こします。

イエスが「完了した」と言って死んだ時、自然が反応し、岩が裂け、墓が開きました。

(マタイ27:51-52)

その時地震も起こり、その直前に3時間の暗闇がありましたね。全てのことが全く逆の意味で、救いではなく反逆として映し出されています。こうして彼らは揺さぶられ、振るわされるのです。

また、あの大きな都(エルサレム)は三つに裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。

そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。(黙示録16:19)

エルサレムが3つに裂かれる。

エルサレムは以前も分断されていました。

1948年、イスラエル国家が誕生した時、ご存知の通り、エルサレムは2つに分かれていました。

半分はイスラエルの統治下で、もう半分はアラブ・ヨルダンの統治下でした。

それが統一されたのがいつだったか覚えていますか? 1967年。

それが今残念なことに、我々の大統領が再び分断を呼びかけていて、それに国連が加担し、世界中がエルサレムを3つに分けろと要求しています。

今日(2011年)出された計画によれば、1/3がユダヤ人、1/3がアラブ人、残りの1/3が国連です。これが、3分割の基準になるのかもしれませんが。エルサレムが3分割される。

けれども、聖書は警告しています。

ゼカリヤ書を読みましょう。

わたしはエルサレムを、その回りのすべての国々の民をよろめかす杯とする。

(ゼカリヤ書12:2)

その日、わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって重い石とする。

すべてそれをつづぐ者は、\*切り刻まれる。( \*KJV) (ゼカリヤ書12:3)

「すべてそれをつづぐ者」は、NIVや他の訳では正しく訳されていて、「すべて、動かそうとする者、分断しようとする者」となっています。

いかなる国も、エルサレムを分断しようとするならば切り刻まれるのです。

その日、わたしは、エルサレムに攻めて来るすべての国々を捜して滅ぼそう。

(ゼカリヤ書12:9)

もしアメリカがこのまま進むのなら、私たちは万事休す、終わり、それまでです。

私たちの文化は恐ろしく墮落してしまっていて、世界の悪の巣窟になっています。

それなのに、どうしてまだここに存在しているのでしょうか。

その理由として私が個人的に信じていることは、私たちがイスラエルの側に立ち、味方となり、手を差し伸べ、親イスラエルだったからです。

だけどそれも、まさに目の前で変わってきています。アメリカ政権がイスラエルに分断を強要することを推し進め、エルサレムを再分割するのなら、私の個人的見解では私たちは終わると思います。

しかし、エルサレムは19節にある通り分断されるでしょう。3つに。

この地震で町は破壊されダメージを受け、

島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。(黙示録16:20)

また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。

人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。

その災害が非常に激しかったからである。(黙示録16:21)

一つ一つの雹が、それぞれ重量**45kg～55kg**って想像できますか？

この雹が降ってきた時、人はどうしたでしょう。

人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。

その災害が非常に激しかったからである。(黙示録16:21)

この章で、人々は何度も何度も神に対して汚しごとを言います。

旧約聖書では、神の冒瀆に対する罰は石打ちの刑。主の御名を冒瀆する者は石打ちの刑だと神は言いました。(レビ記24:16)

「そんな旧約聖書の神話なんか、オレたちには関係ない」「そんなもの、誰が信じるか！」と世は言いますが、神はこの章の中で繰り返し繰り返し、「神の御名を冒瀆する者は、最後は石打ちの刑になる」と言っています。

その時、こんなことを言う人が出て来るでしょう。「石!? **55kg**の雹の石だって？ 勘弁してよ！」「スピリチュアルな話は止めなよ。」「賢ぶるなよ。ただの雹じゃないか！」

見る目を持つ者は見、見たくない者は見ない。

どういうことかということ、イイですか？

アメリカ史上、最も被害が大きかった出来事の内の上位10、最も犠牲の大きかったハリケーンの内の上位12、最も破壊力が強かった竜巻4つの内の3つ、最悪のテロ攻撃の上位2つ。これら全ての共通点は何でしょう？

これらは全て、アメリカ大統領、今回はブッシュ1世、クリントン、ブッシュ2世が、エルサレム分割を迫ってイスラエルに圧力をかけた後、24時間以内に起こっているのです。

アメリカがイスラエルに対して、領土を明け渡すように圧力をかける度、24時間以内に大惨事が起こっています。

ここで選ぶのはあなた。

「テロ攻撃、竜巻、地震、洪水、そんなものは...そんなのただの偶然だ！」と言うこともできません。

でも、見る目を持っている人には分かっている、55kgの雹が降ってきた時こう言います。

「神は、御名を汚した者は石打ちの刑だと言われたじゃないか...」

誰が見えていて、誰が見えていないのか。また、理解している人、していない人。

人それぞれですごく面白い。

だけど大事なことは、神の御言葉が言っていることを信じる方を選ぶか、それとも聞き入れない方を選んで、神に対して汚しごとを言うかは、各個人の選択だということです。

最後に大切なことをお話して終わります。

「冒瀆する」という言葉は非常に深い言葉で、現在の私たちにも当てはまります。

『BLASPHEMED』（冒瀆する）は、ラテン語を背景とした古い英語で、『BLAME』（非難する）『MORE』（もっと）

つまり「冒瀆する」とは、「もっと非難する」ということ。

何をもっと非難するのですか？

「何で神はやってくれないのか。」「何で神はこんなことができるのか。」「何で神はこんなことをするのか。」「僕はこんなことに関わらない。」「全然上手くいかない。」

「もう、うんざりだ。」「もう、たくさんだ。」「もう、ボロボロだ。」

「俺はすごく貧乏で」「俺はととても○○で」「神はどこにいる!？」

「教会にも行って」「祈ったのに!」「主は何もしてくれない!」

これが、冒瀆です。あなたは神を非難し、私も神を非難します。

冒瀆とは、神を非難すること。それは、ととてもとても悪いことです。

「神はなぜ彼女を変えてくれないんだ!」「何で神は、あの人があんな風に振る舞うのを許しているの!？」「どうして神はこれをしてくれないの?やってくれると思ったのに...」

「冒瀆する」とは「私は信じない」「神のせいだ」ということ。

文句を言うこと、愚痴を言うこと。

そういった人たちが、雹で打ち叩かれることになるのです。

『静まって』わたしこそ神であることを知れ。（詩篇46:10）

『静まれ』という言葉は直訳すると『黙れ』という意味です。

詩人は詩篇73篇で、「まことに神は慈しみ深い」と言いました。

悟った人は知恵を得て、「主よ。あなたを信じて、どんなことでも、あなたについて語ったら、みんながその全てのことであなたを責め立てます。主よ。父よ。どうか私に、あなたを信じ、『全てのことが働いて益となる』と信じる友をお与え下さい。

あなたを信じる者のためには、あなたは全てのことを働かせて益として下さいます。」

**全てのことを働かせて益として下さる。**

それがどんなに些細なことでも、苦々しく見えたり、とんでもないことに見えても。

それは、妻のキャンベルがケーキを作っている過程に似ています。

小麦粉、生卵、バター、山盛りの砂糖、バニラエッセンスetc.

私がこの中のどれか一つを取って、「スプーンをちょうだい。小麦粉を少し食べたいんだ。」と言って食べ、「オエーッ!何だ!これがまずくて仕方がないってことを知らないのか!どれだけ料理下手なんだ!」

「まったく...OK、もう1回試してやろう。」そう言って、生卵を食べて「何だ!? 何ひとつちゃんとしてきてないじゃないか。何てこった!それで妻だなんて、よく言えるよな!」

「よし、もう1回試してやるよ。」と、山盛りの塩を食べ「全く考えられないな！」  
そのように文句を言い、妻を冒瀆する。  
全てのことは共に働きます。  
生卵、生の小麦粉、塩、砂糖、バニラエッセンス。これら全てを一つにまとめないといけません。そしてよくかき混ぜる (BEAT) ブルルルルル〜〜〜ね？  
それから火に、オーブン (FIRE) に入れます。  
「打ち叩かれて (BEAT)、更にもう上FIRE(火／解雇)だ!? 何てこった！」そして冒瀆。  
しかし神は言いました。「全てのことが**共に働く**」  
全部を一緒に入れて、それからしっかりかき混ぜ、そして火に入れる。  
すると出て来るのが、DELicious (美味しい) DELightful(愉快的な)  
そして神は言います。DEVine(神聖な)  
愛する皆さん。皆さんに、そして私自身にチャレンジを与えます。  
塩の段階であっても、生卵の段階であっても、小麦粉の段階であっても、もしくはブルルルルル〜〜〜とかき混ぜられている段階であっても、又はオーブンの段階であっても神を冒瀆しないこと。  
皆さん、これは“Piece of Cake” (\*一切れのケーキ“簡単”の意味)  
全てのことが共に働く。それは輝かしく、素晴らしいものになります。  
それらは全て、神聖で壮大な神の計画なのです。  
だから「主は偉大なり!」「賛美されるにふさわしい方!」「私は自分の患難の中でも、主を冒瀆しません。」「グチグチ言いません。」「主を非難しません。」  
そして、「あなたの裁きは、正しく真実です。」  
もし疑わしくなったり、分からなくなったりした時は、祭壇に行きましょう。  
祭壇が叫びます。祭壇は全てを改めてくれるから。  
牧師ヨハネは、当時の会衆にこう言っています。  
「患難が襲って来ます。だけどあなた方は、最後に全てのことが、壮大に繋がるのを見るのです。だから神を冒瀆してはいけません。さもないと雹が降ってきます。注意して知恵を得ましょう。イエスの御名によって。」

私たちに降りかかって来たすべての事において、あなたは正しかったのです。  
あなたは誠実をもって行われたのに、私たちは悪を行ったのです。(ネヘミヤ記9:33)